

9/8 (土) ~9/23 (日) の毎週末 夜間開園

展示会のご案内

◇展示温室 (8/25~9/2)

変化朝顔展

◇展示資料館 (7/28~9/5)

ボタニカルアート作品展

センニンソウ (キンポウゲ科)

つる性で秋の初めに小さな白い花がたくさん咲きます。園芸植物で人気のクレマチスの仲間です。

オミナエシ (オミナエシ科)

秋の七草として知られていますが、実際の開花期は盛夏です。日当たりのよい草地に黄色の花を咲かせます。近くでは、キキョウやカリガネソウなども咲いています。

タコノアシ (タコノアシ科)

東南アジア原産の湿地に生える多年草ですが、生育場所の開発などにより絶滅が危惧されています(環境省準絶滅危惧種)。並んだ花が蛸の吸盤のように見えます。

スズムシバナ

(キツネノマゴ科)

近畿以西に生える多年草。スズムシの鳴くところに涼しげなブルーの花を咲かせます。

オシロイバナ

(オシロイバナ科)

南アメリカ原産の多年草または一年草で、江戸時代に日本に渡来し、半野生化しました。黒い種子の中が白い粉状になっているのが名前の由来です。夕方から咲き始めます。

ワタ (アオイ科)

熱帯~亜熱帯原産の多年草。種子を包んでいる白い繊維が綿の原料になります。ハイビスカスやオクラに似た花が咲いています。普通種、伯州茶綿、赤葉綿など、いくつか品種があります。

タマノカンザシ

(キジカクシ(ユリ科))

中国原産で、ギボウシの仲間の多年草。真っ白な花が夜に咲き、芳香を放ちます。

**熱帯
スイレン
温室
休館中**

変化朝顔

~9月2日(日)

江戸時代から続く古典園芸で、葉や花の多彩な変化を楽しめます。約200鉢の植物と朝顔に関する作品を展示しています。

ハイビスカス・

アーノッティアヌス

(アオイ科)

ハワイ・オアフ島原産の常緑低木で、野生のハイビスカス(原種)です。白く大きな花に、赤いしべが印象的です。

ゴレンシ (カタバミ科)

東南アジア原産で、果樹として栽培されています。現在、ピンクの花と若い緑の果実の両方が見られます。果実を輪切りにすると星形になるのでスターフルーツとも呼ばれています。

